

英文学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 博士前期課程にあつては、2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士前期課程では、すでに単位を修得した科目の再履修はできない。
- (3) 博士前期課程にあつては、指導教授の講義を合計8単位修得しなければならない。なお5科目以降は修了要件単位には含まれない。
- (4) 博士前期課程の必修科目の履修については次の通りとする。ア、Thesis Writing 1 A、1 B（英米文学専修科目）は、一年次に履修することが望ましい。Thesis Writing 2 A、2 B（英語学専修科目）は、二年次に履修することが望ましい。イ、Proseminar は、一年次に履修することが望ましい。ウ、指導教授の開講する研究法演習は、二年次に履修することが望ましい。
- (5) 指導教授と専攻主任が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開設科目を履修して、8単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。

履修上の注意

- (1) A・B 科目は連続履修が原則であるが、休学等の理由により連続履修出来ない場合は、この限りではない。

授業科目・担当指導教員

英文学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力＊			
				科目に最も関連する能力＝◎ 科目に関連する能力＝○			
				①	②	③	④
〔必修科目〕							
Proseminar	2		教授 貞廣 真紀			◎	
Thesis Writing 1 A	2		講師 DELVECCHIO Anthony			◎	○
Thesis Writing 1 B	2		講師 DELVECCHIO Anthony			◎	○
Thesis Writing 2 A	2		講師 SNYDER William			◎	○
Thesis Writing 2 B	2		講師 SNYDER William			◎	○
研究法演習	2		教授 安藤 聡	◎			○
		※	教授 笹田 直人				
		※	教授 貞廣 真紀				
			教授 佐藤 努				
		※	教授 佐野 哲也				
		※	教授 杉田 由仁				
		※	教授 富山 英俊				
		※	教授 平岩 健				
			教授 BROWNE Charles				
			教授 PRONKO Michael				
		※	准教授 辻河 元及				
		※	准教授 本多まりえ				
〔英米文学専修者授業科目〕							
イギリス文学（近代小説）Ⅰ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅰ B	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅱ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅱ B	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅲ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅲ B	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅳ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（近代小説）Ⅳ B	2	※		◎	○		
イギリス文学（英語圏近現代小説）Ⅰ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（英語圏近現代小説）Ⅰ B	2	※		◎	○		
イギリス文学（英語圏近現代小説）Ⅱ A	2	※		◎	○		
イギリス文学（英語圏近現代小説）Ⅱ B	2	※		◎	○		

- (1) 後期課程にあつては、指導教授の研究指導 12 単位を含む 16 単位を修得し、毎年、博士準備論文を執筆し、修了にあつては博士後期課程論文を提出しなければならない。
- (2) 後期課程の在学者は、前期課程の講義を受講することができる。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3 年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (4) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

英文学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数	担 当 者			身につく能力*			
					科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
					①	②	③	④
研究指導	4		教授	安藤 聡	○	◎	○	○
			教授	笹田 直人				
			教授	貞廣 真紀				
			教授	佐藤 努				
			教授	佐野 哲也				
			教授	杉田 由仁				
			教授	富山 英俊				
			教授	中西 公子				
		※	教授	平岩 健				
			教授	BROWNE Charles				
			教授	PRONKO Michael				
		※	准教授	辻河 元及				
			准教授	本多 まりえ				
			専任講師	小椋 道晃				
イギリス文学特殊研究（近代小説）Ⅰ A	2	※			◎	○		
イギリス文学特殊研究（近代小説）Ⅰ B	2	※			◎	○		
イギリス文学特殊研究（英語圏近代小説）Ⅰ A	2	※	准教授	辻河 元及	◎	○		
イギリス文学特殊研究（英語圏近代小説）Ⅰ B	2	※	准教授	辻河 元及	◎	○		
イギリス文学特殊研究（20世紀小説）Ⅰ A	2		教授	安藤 聡	◎	○		
イギリス文学特殊研究（20世紀小説）Ⅰ B	2		教授	安藤 聡	◎	○		
イギリス文学特殊研究（詩）Ⅰ A	2	※			◎	○		
イギリス文学特殊研究（詩）Ⅰ B	2	※			◎	○		
イギリス文学特殊研究（演劇）Ⅰ A	2		准教授	本多 まりえ	◎	○		
イギリス文学特殊研究（演劇）Ⅰ B	2		准教授	本多 まりえ	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（19世紀小説）Ⅰ A	2		教授	貞廣 真紀	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（19世紀小説）Ⅰ B	2		教授	貞廣 真紀	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（19～20世紀小説）Ⅰ A	2		教授	笹田 直人	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（19～20世紀小説）Ⅰ B	2		教授	笹田 直人	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（現代小説・文化）Ⅰ A	2		教授	PRONKO Michael	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（現代小説・文化）Ⅰ B	2		教授	PRONKO Michael	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（詩・批評）Ⅰ A	2		教授	富山 英俊	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（詩・批評）Ⅰ B	2		教授	富山 英俊	◎	○		
アメリカ文学特殊研究（小説・批評）Ⅰ A	2		専任講師	小椋 道晃	◎	○		

フランス文学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 博士前期課程にあつては、「演習」は、指導担当教授の授業を2年度にわたって必修とするが、他の「演習 A・B」を併せて履修してもよい。「特殊研究」は、年度ごとに「特殊研究 A・B」の2科目を必修とするが、他の「特殊研究 A・B」を併せて履修してもよい。また、指導担当教授が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開講科目を履修して、8単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。
- (2) 博士前期課程にあつては、30 単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出しなければならない。
- (3) 「修士論文」は6単位であり、履修単位の合計は 36 単位である。

履修上の注意

- (1) 留学を考える学生には、フランス語の表現力を強化するための「留学準備演習A」の履修を強くすすめる。

授業科目・担当指導教員

フランス文学専攻（博士前期課程）

(※印は今年度休講)

授 業 科 目	単位数	担 当 者		身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
				①	②	③	④
演習ⅠA	2	教授	畠山 達	◎	○		○
演習ⅠB	2	教授	畠山 達	◎	○		○
演習ⅡA	2	教授	慎改 康之	◎	○		○
演習ⅡB	2	教授	慎改 康之	◎	○		○
演習ⅢA	2	教授	湯沢 英彦	◎	○		○
演習ⅢB	2	教授	湯沢 英彦	◎	○		○
演習ⅣA	2	※		◎	○		○
演習ⅣB	2	※		◎	○		○
演習ⅤA	2	※		◎	○		○
演習ⅤB	2	※		◎	○		○
演習ⅥA	2	※		◎	○		○
演習ⅥB	2	※		◎	○		○
特殊研究ⅠA	2	講師	朝比奈 弘治	○	◎		
特殊研究ⅠB	2	講師	朝比奈 弘治	○	◎		
特殊研究ⅡA	2	講師	LEVY Jacques	○	◎		
特殊研究ⅡB	2	講師	LEVY Jacques	○	◎		
特殊研究ⅢA	2	講師	石川 美子	○	◎		
特殊研究ⅢB	2	講師	石川 美子	○	◎		
特殊研究ⅣA	2	※		○	◎		
特殊研究ⅣB	2	※		○	◎		
特殊研究ⅤA	2	※		○	◎		
特殊研究ⅤB	2	※		○	◎		
特殊研究ⅥA	2	※		○	◎		
特殊研究ⅥB	2	※		○	◎		
留学準備演習A	2	准教授	BEAUVIEUX, Marie-Noëlle		◎	○	
留学準備演習B	2	※			◎	○	

* 「身につく能力」について

注) DP = 課程修了の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本大学院の修士課程・博士前期課程の DP に基づく能力	本専攻の DP に基づく「身につく能力」	対応する専攻 DP
①高度な知識・技能	知識・理解・考察・分析・応用・表現力	専攻 DP
②高度な研究能力	フランス語と、フランスに関する専門的な研究能力	専攻 DP
③卓越した職業能力	広く文化的な領域の職業で活躍する能力	専攻 DP
④研究倫理	研究倫理	専攻 DP

フランス文学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 博士後期課程にあっては、指導教授の研究指導に基づいて、特別演習 12 単位（3 年継続履修）を含め、16 単位以上を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。

履修上の注意

- (1) 研究実習 A・B を修得しなければならない。
- (2) 博士後期課程にあっては、3 年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (3) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (4) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (5) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

フランス文学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数	担 当 者			身につく能力*			
					科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
					①	②	③	④
特別演習ⅠA	2		教授	湯沢 英彦	◎	○		○
特別演習ⅠB	2		教授	湯沢 英彦	◎	○		○
特別演習ⅡA	2		教授	慎改 康之	◎	○		○
特別演習ⅡB	2		教授	慎改 康之	◎	○		○
特別演習ⅢA	2		教授	畠山 達	◎	○		○
特別演習ⅢB	2		教授	畠山 達	◎	○		○
特別演習ⅣA	2	※			◎	○		○
特別演習ⅣB	2	※			◎	○		○
特別講義ⅠA	2		教授	齊藤 哲也	◎	○		
特別講義ⅠB	2		教授	齊藤 哲也	◎	○		
特別講義ⅡA	2		准教授	鈴木 和彦	◎	○		
特別講義ⅡB	2		准教授	鈴木 和彦	◎	○		
特別講義ⅢA	2	※			◎	○		
特別講義ⅢB	2	※			◎	○		
特別講義ⅣA	2	※			◎	○		
特別講義ⅣB	2	※			◎	○		
研究実習 A	1		教授	慎改 康之		◎	○	○
			教授	畠山 達				
			教授	湯沢 英彦				
研究実習 B	1		教授	慎改 康之		◎	○	○
			教授	畠山 達				
			教授	湯沢 英彦				

*「身につく能力」について

注）DP = 課程修了の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本大学院の博士後期課程の DP に基づく能力	本専攻の DP に基づく「身につく能力」	対応する専攻 DP
①高度な知識・技能	高度な専門的学識と総合的な洞察力	専攻 DP
②自立した研究能力	研究者として自立するに足る研究成果	専攻 DP
③卓越した職業能力	専門的な職業に就きうる能力	専攻 DP
④研究倫理	研究倫理	専攻 DP

芸術学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 芸術学専攻博士前期課程にあつては、2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 指導教授は所属コースの専任教員のなかから選ぶ。
- (3) 「演習」は、指導教授または所属コースの専任教員の授業4科目8単位を必修とするが、併せて他の「演習」（他コースも含む）を年度ごとに履修することもできる。いずれの場合も「演習」の再履修は2年を上限とする。
- (4) 「特殊講義」は所属コースの「特殊講義」のうち、2科目4単位を履修しなければならないが、他の「特殊講義」（他コースも含む）も併せて履修することができる。
- (5) 担当教授が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開講科目を履修して、2科目4単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。
- (6) 文学部芸術学科が併設する博物館学芸員課程の授業科目を、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の学生が修得し、学芸員資格を得ることができる。
- (7) 博物館学芸員課程の授業科目の単位は、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の、修了に必要な単位には含まれない。

授業科目・担当指導教員

芸術学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
				①	②	③	④
1 音楽学研究コース							
音楽学演習ⅠA	2		准教授 和田 ちはる	○	◎		
音楽学演習ⅠB	2		准教授 和田 ちはる	○	◎		
音楽学演習ⅠC	2	※	准教授 和田 ちはる	○	◎		○
音楽学演習ⅠD	2	※	准教授 和田 ちはる	○	◎		○
音楽学演習ⅡA	2		教授 岡部 真一郎	○	◎		
音楽学演習ⅡB	2		教授 岡部 真一郎	○	◎		
音楽学演習ⅡC	2	※	教授 岡部 真一郎	○	◎		○
音楽学演習ⅡD	2	※	教授 岡部 真一郎	○	◎		○
音楽学演習ⅢA	2		教授 望月 京	○	◎		
音楽学演習ⅢB	2		教授 望月 京	○	◎		
音楽学演習ⅢC	2	※	教授 望月 京	○	◎		
音楽学演習ⅢD	2	※	教授 望月 京	○	◎		
音楽学特殊講義ⅠA	2		講師 藤田 茂	○	◎		
音楽学特殊講義ⅠB	2		講師 塚原 康子	○	◎		
音楽学特殊講義ⅡA	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅡB	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅢA	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅢB	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅣA	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅣB	2	※		○	◎		
音楽学特殊講義ⅤA	2	※		◎	○		
音楽学特殊講義ⅤB	2	※		○	◎		
音楽学特殊講義ⅥA	2	※			○	◎	○
音楽学特殊講義ⅥB	2	※			○	◎	○
芸術学特論（音楽学）	2	※		○	◎		○
2 映像芸術学研究コース							
映像芸術学演習ⅠA	2		准教授 DOMENIG Roland	◎	○	○	○
映像芸術学演習ⅠB	2		准教授 DOMENIG Roland	◎	○	○	○
映像芸術学演習ⅠC	2	※	准教授 DOMENIG Roland	◎	○	○	○
映像芸術学演習ⅠD	2	※	准教授 DOMENIG Roland	◎	○	○	○
映像芸術学演習ⅡA	2		教授 斉藤 綾子	○	◎	○	○
映像芸術学演習ⅡB	2		教授 斉藤 綾子	○	◎	○	○

芸術学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 芸術学専攻博士後期課程にあつては、原則として指導教授の講義8単位（特殊研究2科目4単位を2年間にわたって履修する）を含め12単位を履修し、かつ、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 文学部芸術学科が併設する博物館学芸員課程の授業科目を、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の学生が修得し、学芸員資格を得ることができる。
- (3) 博物館学芸員課程の授業科目の単位は、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の、修了に必要な単位には含まれない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (4) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

芸術学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
				①	②	③	④
1 音楽学研究コース							
音楽学特殊研究Ⅰ A	2		准教授 和田 ちはる	◎	○		○
音楽学特殊研究Ⅰ B	2		准教授 和田 ちはる	◎	○		○
音楽学特殊研究Ⅱ A	2		教授 岡部 真一郎	◎	○		
音楽学特殊研究Ⅱ B	2		教授 岡部 真一郎	◎	○		
音楽学特殊研究Ⅲ A	2		教授 望月 京	◎	○		
音楽学特殊研究Ⅲ B	2		教授 望月 京	◎	○		
2 映像芸術学研究コース							
映像芸術学特殊研究Ⅰ A	2		准教授 DOMENIG Roland	○	◎		
映像芸術学特殊研究Ⅰ B	2		准教授 DOMENIG Roland	○	◎		
映像芸術学特殊研究Ⅱ A	2		教授 斉藤 綾子	○	◎	○	○
映像芸術学特殊研究Ⅱ B	2		教授 斉藤 綾子	○	◎	○	○
映像芸術学特殊研究Ⅲ A	2		教授 門間 貴志	○	◎	○	
映像芸術学特殊研究Ⅲ B	2		教授 門間 貴志	○	◎	○	
3 美術史学研究コース							
美術史学特殊研究Ⅰ A	2		教授 青野 純子	◎	○	○	
美術史学特殊研究Ⅰ B	2		教授 青野 純子	◎	○	○	
美術史学特殊研究Ⅱ A	2		教授 山下 裕二	◎	○	○	
美術史学特殊研究Ⅱ B	2		教授 山下 裕二	◎	○	○	
4 芸術メディア論研究コース							
芸術メディア論特殊研究Ⅰ A	2	※	教授 長谷川 一	◎	○	○	
芸術メディア論特殊研究Ⅰ B	2	※	教授 長谷川 一	◎	○	○	
芸術メディア論特殊研究Ⅱ A	2		教授 古川 柳子	◎	○	○	○
芸術メディア論特殊研究Ⅱ B	2		教授 古川 柳子	◎	○	○	○
5 演劇身体表現論研究コース							
演劇身体表現論特殊研究Ⅰ A	2		准教授 富田 大介	◎	○	○	
演劇身体表現論特殊研究Ⅰ B	2		准教授 富田 大介	◎	○	○	
演劇身体表現論特殊研究Ⅱ A	2		教授 穴澤 万里子	◎	○	○	
演劇身体表現論特殊研究Ⅱ B	2		教授 穴澤 万里子	◎	○	○	

経済学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 博士前期課程にあっては、2年以上在籍し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士前期課程では、単位修得科目の再履修はできない。
- (3) 博士前期課程にあっては、原則として指導教授による講義2科目4単位と2年継続の演習8単位（1年次4単位、2年次4単位）合計12単位を必修とする。
- (4) 博士前期課程にあっては、(3)の必修科目以外に、所属専攻の授業科目の中から18 単位以上を履修し、修得しなければならない。

1. 必修科目 講義科目：4単位（2科目）

演習科目：8単位（2科目）

2. 選択科目 講義科目：18単位

合 計

30 単位以上

履修上の注意

- (1) 10 単位までは、協定校（8 大学）の単位互換が認められる（選択科目）。
- (2) 原則として指導教授以外の「演習」は履修できない。
- (3) 全ての履修科目は、指導教授と相談し、承認・押印を得なければならない。

授業科目・担当指導教員

経済学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力＊ 科目に最も関連する能力＝◎ 科目に関連する能力＝○				
				①	②	③	④	
【演習科目】								
演習Ⅰ	4		教授	大石 尊之	○	◎	○	○
			教授	大村 真樹子				
			教授	神山 恒雄				
			教授	神門 善久				
			教授	児玉 直美				
			教授	小林 正人				
			教授	齋藤 隆志				
			教授	佐々木 百合				
			教授	鈴木 岳				
			教授	宋 立水				
			教授	高松 慶裕				
			教授	中村 友哉				
			教授	中野 聡子				
			教授	室 和伸				
演習Ⅱ	4		教授	大石 尊之	○	◎	○	○
		※	教授	大村 真樹子				
		※	教授	神山 恒雄				
		※	教授	神門 善久				
		※	教授	児玉 直美				
		※	教授	小林 正人				
		※	教授	齋藤 隆志				
		※	教授	佐々木 百合				
		※	教授	鈴木 岳				
		※	教授	宋 立水				
		※	教授	高松 慶裕				
		※	教授	中野 聡子				
		※	教授	室 和伸				
		【講義科目】						
ミクロ経済学特論 1	2		教授	鈴木 岳	○	◎	○	○
ミクロ経済学特論 2	2		教授	鈴木 岳	○	◎	○	○
マクロ経済学特論 1	2		教授	室 和伸	○	◎	○	○
マクロ経済学特論 2	2		教授	室 和伸	○	◎	○	○
経済政策論特論 1	2		准教授	岡本 実哲	○	◎	○	○
経済政策論特論 2	2		准教授	岡本 実哲	○	◎	○	○

経済学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 博士後期課程にあつては、原則として指導教授の講義科目（4単位）と、演習（4単位）を3年連続で12単位を履修し、合計16単位を修得しなければならない。さらに、在籍期間中、指導教授の指導にもとづいて、必要な科目を履修しなければならない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 演習は、講義の単位修得後でなければ履修できない。ただし、経済学研究科および心理学研究科についてはこの限りではない。
- (4) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (5) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出しなければならない。

授業科目・担当指導教員

経済学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数	担 当 者			身につく能力*			
					科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
					①	②	③	④
理論経済学特殊研究（Ⅰ）	4		教授	鈴木 岳	◎	○	○	○
理論経済学特殊研究（Ⅰ）演習	4		教授	鈴木 岳	○	◎	○	○
理論経済学特殊研究（Ⅱ）	4		教授	室 和伸	◎	○	○	○
理論経済学特殊研究（Ⅱ）演習	4		教授	室 和伸	○	◎	○	○
理論経済学特殊研究（Ⅲ）	4		教授	齋藤 隆志	◎	○	○	○
理論経済学特殊研究（Ⅲ）演習	4		教授	齋藤 隆志	○	◎	○	○
金融論特殊研究（Ⅰ）	4	※			◎	○	○	○
金融論特殊研究（Ⅰ）演習	4	※			○	◎	○	○
金融論特殊研究（Ⅱ）	4		教授	佐々木 百合	◎	○	○	○
金融論特殊研究（Ⅱ）演習	4		教授	佐々木 百合	○	◎	○	○
経済数学特殊研究（Ⅰ）	4		教授	小林 正人	◎	○	○	○
経済数学特殊研究（Ⅰ）演習	4		教授	小林 正人	○	◎	○	○
経済数学特殊研究（Ⅱ）	4	※			◎	○	○	○
経済数学特殊研究（Ⅱ）演習	4	※			○	◎	○	○
経済史特殊研究（Ⅰ）	4		教授	神山 恒雄	◎	○	○	○
経済史特殊研究（Ⅰ）演習	4		教授	神山 恒雄	○	◎	○	○
経済史特殊研究（Ⅱ）	4	※			◎	○	○	○
経済史特殊研究（Ⅱ）演習	4	※			○	◎	○	○
経済史特殊研究（Ⅲ）	4	※			◎	○	○	○
経済史特殊研究（Ⅲ）演習	4	※			○	◎	○	○
各国経済論特殊研究（Ⅰ）	4	※			◎	○	○	○
各国経済論特殊研究（Ⅰ）演習	4	※			○	◎	○	○
各国経済論特殊研究（Ⅱ）	4		教授	宋 立水	◎	○	○	○
各国経済論特殊研究（Ⅱ）演習	4		教授	宋 立水	○	◎	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅰ）	4		教授	大村 真樹子	◎	○	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅰ）演習	4		教授	大村 真樹子	○	◎	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅱ）	4		教授	中村 友哉	◎	○	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅱ）演習	4		教授	中村 友哉	○	◎	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅲ）	4		教授	神門 善久	◎	○	○	○
経済政策論特殊研究（Ⅲ）演習	4		教授	神門 善久	○	◎	○	○

経営学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 経済学研究科経営学専攻博士後期課程にあつては、指導教授の講義科目（4単位）と、演習（4単位）を3年連続で12単位を履修し、合計16単位を修得しなければならない。さらに、在籍期間中、指導教授の指導にもとづいて、必要な科目を履修しなければならない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 演習は、講義の単位修得後でなければ履修できない。ただし、経済学研究科および心理学研究科についてはこの限りではない。
- (4) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (5) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

経営学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
				①	②	③	④
マーケティング情報システム論特殊研究	4		教授 森田 正隆	◎	○	○	○
マーケティング情報システム論特殊研究演習1	4		教授 森田 正隆	○	◎	○	○
マーケティング情報システム論特殊研究演習2	4	※	教授 森田 正隆	○	◎	○	○
マーケティング情報システム論特殊研究演習3	4	※	教授 森田 正隆	○	◎	○	○
マーケティング・サイエンス特殊研究	4		教授 齊藤 嘉一	◎	○	○	○
マーケティング・サイエンス特殊研究演習1	4		教授 齊藤 嘉一	○	◎	○	○
マーケティング・サイエンス特殊研究演習2	4	※	教授 齊藤 嘉一	○	◎	○	○
マーケティング・サイエンス特殊研究演習3	4	※	教授 齊藤 嘉一	○	◎	○	○
経営戦略論特殊研究	4	※		◎	○	○	○
経営戦略論特殊研究演習1	4	※		○	◎	○	○
経営戦略論特殊研究演習2	4	※		○	◎	○	○
経営戦略論特殊研究演習3	4	※		○	◎	○	○
情報管理論特殊研究	4		教授 濱口 幸弘	◎	○	○	○
情報管理論特殊研究演習1	4		教授 濱口 幸弘	○	◎	○	○
情報管理論特殊研究演習2	4	※	教授 濱口 幸弘	○	◎	○	○
情報管理論特殊研究演習3	4	※	教授 濱口 幸弘	○	◎	○	○
国際経営論特殊研究	4		教授 西原 博之	◎	○	○	○
国際経営論特殊研究演習1	4		教授 西原 博之	○	◎	○	○
国際経営論特殊研究演習2	4	※	教授 西原 博之	○	◎	○	○
国際経営論特殊研究演習3	4	※	教授 西原 博之	○	◎	○	○
イノベーション特殊研究	4		教授 稲山 健司	◎	○	○	○
イノベーション特殊研究演習1	4		教授 稲山 健司	○	◎	○	○
イノベーション特殊研究演習2	4	※	教授 稲山 健司	○	◎	○	○
イノベーション特殊研究演習3	4	※	教授 稲山 健司	○	◎	○	○
異文化マネジメント特殊研究	4	※		◎	○	○	○
異文化マネジメント特殊研究演習1	4	※		○	◎	○	○
異文化マネジメント特殊研究演習2	4	※		○	◎	○	○
異文化マネジメント特殊研究演習3	4	※		○	◎	○	○
日本経営史特殊研究	4		教授 北浦 貴士	◎	○	○	○
日本経営史特殊研究演習1	4		教授 北浦 貴士	○	◎	○	○
日本経営史特殊研究演習2	4	※	教授 北浦 貴士	○	◎	○	○
日本経営史特殊研究演習3	4	※	教授 北浦 貴士	○	◎	○	○
ファイナンス特殊研究	4		教授 大野 弘明	◎	○	○	○
ファイナンス特殊研究演習1	4		教授 大野 弘明	○	◎	○	○
ファイナンス特殊研究演習2	4	※	教授 大野 弘明	○	◎	○	○
ファイナンス特殊研究演習3	4	※	教授 大野 弘明	○	◎	○	○

社会学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 博士前期課程にあっては、2年以上在籍し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士前期課程では、研究指導以外、単位修得科目の再履修はできない。
- (3) 必修科目は、社会学基礎演習2単位および研究指導6単位（1年次3単位、2年次3単位）である。
- (4) 研究指導は、原則として同一教員のものを履修することとする。
- (5) その他の授業科目22単位以上を選択履修するものとする。
- (6) 同一研究科内の他専攻の授業科目から4科目8単位までは、研究科委員会の承認を得て履修することができる。
- (7) 社会学部社会学科が併設する社会調査士資格取得のための授業科目を、社会学研究科社会学専攻博士前期課程の学生が履修し、社会調査士資格の認定を申請することができる。
- (8) 社会調査士資格関係科目の単位は、社会学研究科社会学専攻博士前期課程の修了に必要な単位には含まれない。

授業科目・担当指導教員

社会学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
				①	②	③	④
1. 基礎研究							
社会学基礎演習	2		教授 加藤 秀一	◎	○	○	○
アカデミック・ライティング1 A	2		講師 阿部 貴美子	○	◎		
アカデミック・ライティング1 B	2		講師 阿部 貴美子	○	◎		
アカデミック・ライティング2 A	2	※		○	◎		
アカデミック・ライティング2 B	2	※		○	◎		
2. 理論・方法論研究							
社会学方法論研究	2		准教授 松波 康男		○	○	◎
社会学方法論研究1 A	2	※			○	○	◎
社会学方法論研究1 B	2	※			○	○	◎
社会学方法論研究2 A	2	※			○	○	◎
社会学方法論研究2 B	2	※			○	○	◎
数量データ分析特論	2	※				◎	○
質的データ分析特論	2		教授 藤川 賢			◎	○
3. 個別分野研究							
家族社会学研究1 A	2		教授 野沢 慎司	◎	○	○	○
家族社会学研究1 B	2		教授 野沢 慎司	◎	○	○	○
家族社会学研究2 A	2	※	教授 野沢 慎司	◎	○	○	○
家族社会学研究2 B	2	※	教授 野沢 慎司	◎	○	○	○
性現象論研究1 A	2		教授 加藤 秀一	◎	○	○	○
性現象論研究1 B	2		教授 加藤 秀一	◎	○	○	○
性現象論研究2 A	2	※	教授 加藤 秀一	◎	○	○	○
性現象論研究2 B	2	※	教授 加藤 秀一	◎	○	○	○
医療と身体研究1 A	2		教授 柘植 あづみ	◎	○	○	○
医療と身体研究1 B	2		教授 柘植 あづみ	◎	○	○	○
医療と身体研究2 A	2	※	教授 柘植 あづみ	◎	○	○	○
医療と身体研究2 B	2	※	教授 柘植 あづみ	◎	○	○	○
犯罪社会学研究1 A	2		教授 澤野 雅樹	◎	○	○	○
犯罪社会学研究1 B	2		教授 澤野 雅樹	◎	○	○	○
犯罪社会学研究2 A	2	※	教授 澤野 雅樹	◎	○	○	○
犯罪社会学研究2 B	2	※	教授 澤野 雅樹	◎	○	○	○
社会心理学研究1 A	2		准教授 鬼頭 美江	◎	○	○	○
社会心理学研究1 B	2		准教授 鬼頭 美江	◎	○	○	○
社会心理学研究2 A	2	※	准教授 鬼頭 美江	◎	○	○	○
社会心理学研究2 B	2	※	准教授 鬼頭 美江	◎	○	○	○

- (1) 社会学研究科社会学専攻博士後期課程にあつては、指導教授の研究指導4単位を3年継続して（計12単位）、かつ、理論・方法論研究4単位の合計16単位以上を修得しなければならない。
- (2) 社会学部社会学科が併設する社会調査士資格取得のための授業科目を、社会学研究科社会学専攻博士後期課程の学生が履修し、社会調査士資格の認定を申請することができる。
- (3) 社会調査士資格関係科目の単位は、社会学研究科社会学専攻博士後期課程の修了に必要な単位には含まれない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (4) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

社会学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
				①	②	③	④
1. 研究指導							
研究指導（社会学方法論研究）	4	※		○	◎	○	○
研究指導（社会心理学研究）	4	※		○	◎	○	○
研究指導（家族社会学研究）	4		教授 野沢 慎司	○	◎	○	○
研究指導（犯罪社会学研究）	4		教授 澤野 雅樹	○	◎	○	○
研究指導（文化社会学研究）	4	※		○	◎	○	○
研究指導（性現象論研究）	4		教授 加藤 秀一	○	◎	○	○
研究指導（都市と地域社会研究）	4		教授 岩永 真治	○	◎	○	○
研究指導（医療と身体研究）	4		教授 柘植 あづみ	○	◎	○	○
研究指導（相互行為論研究）	4	※		○	◎	○	○
研究指導（社会構造論研究）	4	※		○	◎	○	○
研究指導（社会倫理学研究）	4	※	教授 稲葉 振一郎	○	◎	○	○
研究指導（環境社会学研究）	4		教授 藤川 賢	○	◎	○	○
研究指導（メディア社会学研究）	4		教授 佐藤 正晴	○	◎	○	○
研究指導（市民社会論研究）	4		教授 坂口 緑	○	◎	○	○
研究指導（コミュニケーション研究）	4		教授 石原 英樹	○	◎	○	○
研究指導（歴史社会学研究）	4	※	教授 石原 俊	○	◎	○	○
研究指導（子どもと教育研究）	4		教授 元森 絵里子	○	◎	○	○
研究指導（文化産業論研究）	4		教授 半澤 誠司	○	◎	○	○
2. 理論・方法論研究							
特別研究（社会学基礎理論）	2	※	教授 石原 俊	◎	○	○	○
特別研究（社会学方法論）	2	※	准教授 仲 修平	○	○	○	◎
3. 社会調査士関係科目							
社会調査の基礎	2		担当者は社会学部社会学科の 時間割でご確認ください。	修了要件外科目は、専攻の ディプロマ・ポリシーに基 づく「身につく能力」との 関連がないため「◎、○」 を記載していません。			
社会調査の技法	2						
データ分析入門	2						
社会統計学	2						
数量データ分析	2						
質的データ分析	2						
社会調査実習	4						
社会教育調査実習	4						

- (1) 博士前期課程にあつては、2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 「現職ソーシャルワーカーのためのリカレント教育をサポートする」ためのコース（以下3年制コースと称する。3年制コースは長期在学制度を指す。）を選択した者については、3年以上在学し、33単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、前期課程在籍2年目の履修登録時に、研究課題修了報告書あるいは修士論文のいずれかを選択しなければならない。なお、前記研究課題修了報告書は、修士論文と同等の明治学院大学学位規程における学位論文にあたる。
- (3) 博士前期課程の2年制コースと3年制コースの選択は入学試験の際に行う。選択したコースは、理由を問わずこれを変更できない。
- (4) 研究指導1・3単位合計6単位（1年次3単位、2年次3単位）は2年制コースの、研究指導2・3単位合計9単位（1年次3単位、2年次3単位、3年次3単位）は3年制コースの必修科目とする。その他、社会福祉原論研究A・2単位および社会福祉原論研究B・2単位、ソーシャルワーク論研究A・2単位およびソーシャルワーク論研究B・2単位を必修とする。なお、研究指導は、原則として同一教員のものを履修することとする。
- (5) 博士前期課程では単位修得科目の再履修はできない。
- (6) 必修科目以外に、所属専攻の授業科目の中から16単位以上を選択履修する。
- (7) 同一研究科内の他専攻の授業科目の中から4科目8単位までは、研究科委員会の承認を得て履修することができる。ただし、これらの単位は、社会学研究科社会福祉学専攻前期課程の修了に必要な単位には含まれない。

授業科目・担当指導教員

社会福祉学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
				①	②	③	④
基礎研究領域							
社会福祉原論研究A	2		教授 金子 充	○	◎	○	○
社会福祉原論研究B	2		教授 金子 充	○	◎	○	○
ソーシャルワーク論研究A	2		教授 久保 美紀	◎	○	○	○
ソーシャルワーク論研究B	2		教授 久保 美紀	◎	○	○	○
社会福祉研究法A	2		教授 武川 正吾	○	◎	○	○
社会福祉研究法B	2		講師 長谷川 博康	○	◎	○	○
社会保障論研究A	2		教授 岡 伸一	○	◎		
社会保障論研究B	2		教授 岡 伸一	○	◎		
社会福祉史研究A	2	※		○	◎		
社会福祉史研究B	2	※		○	◎		
社会福祉法制研究A	2	※		○	◎		
社会福祉法制研究B	2	※		○	◎		
社会福祉調査論研究A	2		教授 和気 康太	○	○	○	◎
社会福祉調査論研究B	2		教授 和気 康太	○	○	○	◎
福祉開発論研究A	2		教授 明石 留美子	○	◎	○	○
福祉開発論研究B	2		教授 明石 留美子	○	◎	○	○
社会政策論研究A	2		教授 武川 正吾	○	◎		
社会政策論研究B	2		教授 武川 正吾	○	◎		
実践研究領域							
ソーシャルワーク研究1A	2	※		◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究1B	2	※		◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究2A	2		准教授 宮崎 理	◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究2B	2		准教授 宮崎 理	◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究3A	2		教授 深谷 美枝	◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究3B	2		教授 深谷 美枝	◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究4A	2		准教授 榊原 美樹	◎	○	○	○
ソーシャルワーク研究4B	2		准教授 榊原 美樹	◎	○	○	○

社会福祉学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程にあつては、指導教授の講義科目4単位と研究指導8単位（2年間にわたって履修）合計12単位を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。
- (2) さらに、指導教授の指導にもとづいて、前期課程の授業科目（研究指導領域を除く）を受講することができる。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (4) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

社会福祉学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数	担 当 者			身につく能力*			
					科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
					①	②	③	④
特殊研究（社会福祉原論研究）	4		教授	金子 充	◎	○		○
特殊研究（社会福祉原論研究）研究指導	4		教授	金子 充	○	◎		○
特殊研究（社会福祉史研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（社会福祉史研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（社会保障論研究）	4		教授	岡 伸一	◎	○		○
特殊研究（社会保障論研究）研究指導	4		教授	岡 伸一	○	◎		○
特殊研究（社会福祉法制論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（社会福祉法制論研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（地域福祉論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（地域福祉論研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（児童福祉論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（児童福祉論研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（高齢者福祉論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（高齢者福祉論研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（精神保健福祉論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（精神保健福祉論研究）研究指導	4	※			○	◎		○
特殊研究（障害者福祉論研究）	4	※			◎	○		○
特殊研究（障害者福祉論研究）研究指導	4	※			○	◎		
特殊研究（ソーシャルワーク研究1）	4	※			◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究1）研究指導	4	※			○	◎	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究2）	4	※			◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究2）研究指導	4	※			○	◎	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究3）	4		教授	深谷 美枝	◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究3）研究指導	4		教授	深谷 美枝	○	◎	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究4）	4	※			◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究4）研究指導	4	※			○	◎	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究5）	4		教授	茨木 尚子	◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク研究5）研究指導	4		教授	茨木 尚子	○	◎	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク論研究）	4		教授	久保 美紀	◎	○	○	○
特殊研究（ソーシャルワーク論研究）研究指導	4		教授	久保 美紀	○	◎	○	○
特殊研究（医療福祉論研究）	4		教授	大瀧 敦子	◎	○	○	○
特殊研究（医療福祉論研究）研究指導	4		教授	大瀧 敦子	○	◎	○	○

法律学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 指導教授の研究指導（前後期各2単位）および講義科目（2単位）を3年間継続して修得（合計18単位）しなければならない。これに加えて、指導教授の指導に基づき、必要な講義科目を履修しなければならない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、指導教授の研究指導（前後期各2単位）および講義科目（2単位）を3年間継続して修得（合計18単位）しなければならない。これに加えて、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

法律学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
				①	②	③	④
研究指導科目							
研究指導（法哲学A）	2		教授 高橋 文彦	○	◎	○	○
研究指導（法哲学B）	2		教授 高橋 文彦	○	◎	○	○
研究指導（西洋法制史A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（西洋法制史B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（法社会学A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（法社会学B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（憲法1A）	2		教授 宮地 基	○	◎	○	○
研究指導（憲法1B）	2		教授 宮地 基	○	◎	○	○
研究指導（憲法2A）	2		教授 蛭原 健介	○	◎	○	○
研究指導（憲法2B）	2		教授 蛭原 健介	○	◎	○	○
研究指導（行政法1A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（行政法1B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（行政法2A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（行政法2B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（租税法A）	2		教授 渡辺 充	○	◎	○	○
研究指導（租税法B）	2		教授 渡辺 充	○	◎	○	○
研究指導（国際法1A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際法1B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際法2A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際法2B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際人権法1A）	2		教授 東澤 靖	○	◎	○	○
研究指導（国際人権法1B）	2		教授 東澤 靖	○	◎	○	○
研究指導（国際取引法1A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際取引法1B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際取引法2A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（国際取引法2B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（民法1A）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（民法1B）	2	※		○	◎	○	○
研究指導（民法2A）	2		教授 福田 清明	○	◎	○	○
研究指導（民法2B）	2		教授 福田 清明	○	◎	○	○
研究指導（民法3A）	2		教授 今尾 真	○	◎	○	○
研究指導（民法3B）	2		教授 今尾 真	○	◎	○	○
研究指導（民法4A）	2		教授 大木 満	○	◎	○	○
研究指導（民法4B）	2		教授 大木 満	○	◎	○	○

国際学専攻 博士前期課程 履修方法

- (1) 博士前期課程にあつては、2年以上在籍し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 必修科目は、①国際学基礎演習 1、国際学基礎演習 2 の 2 科目（4 単位）、②指導教員が担当する演習を伴う科目より 2 科目（4 単位）ならびにその演習 2 科目（4 単位）、③論文指導としての研究指導 4 科目（4 単位）の合計 16 単位とする。研究指導科目は、原則として同一科目番号の a および b を合わせて履修しなければならない。
- (3) 演習を伴う科目については、原則として指導教員の開講する科目を履修しなければならない。
- (4) その他の授業科目 7 科目 14 単位以上を選択履修するものとする。
- (5) 国際学部の専任教員が担当する国際学科の学科講義科目（3）または国際キャリア学科の上級科目（講義科目）の 2 科目に限って、国際学基礎研究 1 または国際学基礎研究 2 の修得とすることができる。履修にあたっては指導教員が指定し、国際学専攻主任の許可を得なければならない。これらの科目の担当教員は、大学院生の履修者に対しては、追加的な教材、課題を課し、大学院生独自の基準で単位を認定する。但し、国際学基礎研究 1 および国際学基礎研究 2 の単位は修了単位に含められない。
- (6) 指導教授の研究指導については同一科目の複数回の履修を可とする。

授業科目・担当指導教員

国際学専攻（博士前期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
①	②	③	④				
《基礎科目》							
国際学基礎研究 1	2		(担当教員)	修了要件科目は、専攻のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため「◎、○」を記載していません。			
国際学基礎研究 2	2		(担当教員)				
国際学基礎演習 1	2	教授	重富 真一	◎	○		○
国際学基礎演習 2	2	教授	中田 瑞穂	◎	○		○
アカデミック・ライティング 1	2	講師	阿部 望	○	◎		
アカデミック・ライティング 2	2	講師	阿部 望	○	◎		
《日本・アジア研究》							
日本・アジア研究領域基礎演習 1	2	講師	竹尾 茂樹	◎	○		○
日本・アジア研究領域基礎演習 2	2	教授	青柳 寛	◎	○		○
開発経済論 1	2	※		◎	○		
開発経済論 2	2	※		◎	○		
開発経済論演習 1	2	※			◎	○	○
開発経済論演習 2	2	※			◎	○	○
農業・農村開発論 1	2	教授	重富 真一	◎	○		
農業・農村開発論 2	2	教授	重富 真一	◎	○		
農業・農村開発論演習 1	2	教授	重富 真一		◎	○	○
農業・農村開発論演習 2	2	教授	重富 真一		◎	○	○
マイノリティ研究 1	2	教授	GILL Thomas P.	◎	○		
マイノリティ研究 2	2	教授	GILL Thomas P.	◎	○		
マイノリティ研究演習 1	2	教授	GILL Thomas P.		◎	○	○
マイノリティ研究演習 2	2	教授	GILL Thomas P.		◎	○	○
比較制度経済学 1	2	※		◎	○		
比較制度経済学 2	2	※		◎	○		
比較制度経済学演習 1	2	※			◎	○	○
比較制度経済学演習 2	2	※			◎	○	○
日本文学・文芸評論 1	2	※		◎	○		
日本文学・文芸評論 2	2		准教授 IVANOVA Gergana	◎	○		
日本文学・文芸評論演習 1	2	※			◎	○	○
日本文学・文芸評論演習 2	2		准教授 IVANOVA Gergana		◎	○	○
日本語教育論 1	2	※		◎	○		
日本語教育論 2	2	※		◎	○		
日本語教育論演習 1	2	※			◎	○	○
日本語教育論演習 2	2	※			◎	○	○

国際学専攻 博士後期課程 履修方法

国際学研究科国際学専攻後期課程にあつては、

- (1) 指導教授の講義科目4単位と研究指導8単位、合計12単位以上を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。指導教授の研究指導については同一科目の複数回の履修を可とする。
- (2) さらに、指導教授の指導にもとづいて、研究の基礎科目を受講しなければならない。
- (3) 研究指導は、研究指導教授（主）と2名の研究指導教授（副）によって行う。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 研究指導は、講義の単位修得後でなければ履修できない。
- (4) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (5) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

国際学専攻（博士後期課程）

（※印は今年度休講）

授 業 科 目	単位数	担 当 者			身につく能力*			
					科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
					①	②	③	④
特殊研究（軍縮・平和研究）	4	※			◎	○		
特殊研究（軍縮・平和研究）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（国際関係論）	4		教授	半澤 朝彦	◎	○		
特殊研究（国際関係論）研究指導	4		教授	半澤 朝彦		◎	○	○
特殊研究（国際人権・難民法）	4		教授	阿部 浩己	◎	○		
特殊研究（国際人権・難民法）研究指導	4		教授	阿部 浩己		◎	○	○
特殊研究（国際関係法）	4		教授	孫 占坤	◎	○		
特殊研究（国際関係法）研究指導	4		教授	孫 占坤		◎	○	○
特殊研究（国際経済法）	4	※			◎	○		
特殊研究（国際経済法）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（国際経済論）	4	※	教授	熊倉 正修	◎	○		
特殊研究（国際経済論）研究指導	4	※	教授	熊倉 正修		◎	○	○
特殊研究（国際政治経済論）	4		教授	末内 啓子	◎	○		
特殊研究（国際政治経済論）研究指導	4		教授	末内 啓子		◎	○	○
特殊研究（アフリカ政治経済論）	4		専任講師	井手上 和代	◎	○		
特殊研究（アフリカ政治経済論）研究指導	4		専任講師	井手上 和代		◎	○	○
特殊研究（アジア政治経済論）	4	※			◎	○		
特殊研究（アジア政治経済論）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（東アジア地域研究）	4	※			◎	○		
特殊研究（東アジア地域研究）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（南アジア研究）	4		教授	森本 泉	◎	○		
特殊研究（南アジア研究）研究指導	4		教授	森本 泉		◎	○	○
特殊研究（中国政治経済論）	4	※			◎	○		
特殊研究（中国政治経済論）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（EU 政治経済論）	4	※			◎	○		
特殊研究（EU 政治経済論）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（中欧東欧論）	4		教授	戸谷 浩	◎	○		
特殊研究（中欧東欧論）研究指導	4		教授	戸谷 浩		◎	○	○
特殊研究（比較経済制度研究）	4	※			◎	○		
特殊研究（比較経済制度研究）研究指導	4	※				◎	○	○
特殊研究（地域統合の政治経済学）	4		准教授	岩村 英之	◎	○		
特殊研究（地域統合の政治経済学）研究指導	4		准教授	岩村 英之		◎	○	○

◆ 臨床心理学コース

心理学専攻博士前期課程臨床心理学コースを修了するためには、次に示す科目を履修して単位を修得すると共に、「修士論文」を定められた期日までに提出し審査に合格することが必要である。

- ・必修科目 19 科目 (39 単位) を全て履修すること。
- ・選択必修科目を以下のように履修しなければならない。

A ～ E の各群の中から各々 1 科目 (2 単位) 以上、計 5 科目 (10 単位) 以上を履修すること。

1. 必修科目	19 科目	39 単位
2. 選択必修科目	5 科目	10 単位
合 計	24 科目	49 単位以上

履修上の注意

- (1) 博士前期課程にあっては、2 年以上在籍し、全ての必修科目を含む 49 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 指導教員は、所属コースの教授または准教授の中から決められる。
- (3) 公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部対象の公認心理師となるために必要な科目の単位を学部卒業までに修得した上で、「受験資格取得に必要な科目」「公認心理師」を修得しなければならない。
- (4) 心理実践実習 (I ～ VIII : 合計 15 単位) は 1 単位を 30 時間以上としており、全 15 単位で 450 時間以上の実習時間となる。

◆ 心理学コース

心理学専攻博士前期課程心理学コースを修了するためには、次に示す科目を履修して単位を修得すると共に「修士論文」を定められた期日までに提出し審査に合格することが必要である。

- ・必修科目 5 科目 (8 単位) を全て履修すること。
- ・選択必修科目を以下のように履修しなければならない。
- 1) 講義科目は、8 科目 (16 単位) を履修すること。
- 2) 研究科目は、4 科目 (4 単位) を履修すること。ただし、1 科目につき 1 AB・2 AB を連続して履修すること。
- ・選択科目は、講義科目、実習科目の中から合計 5 科目 (8 単位以上) を履修すること。

- 1) 講義科目は、3 科目 (6 単位) 以上を履修すること。
 - 2) 実習科目は、2 科目 (2 単位) 以上を履修すること。
- | | | |
|-----------|-------|---------|
| 1. 必修科目 | 5 科目 | 8 単位 |
| 2. 選択必修科目 | | |
| (1) 講義科目 | 8 科目 | 16 単位 |
| (2) 研究科目 | 4 科目 | 4 単位 |
| 3. 選択科目 | 5 科目 | 8 単位以上 |
| 合 計 | 22 科目 | 36 単位以上 |

履修上の注意

- (1) 博士前期課程にあっては、2 年以上在籍し、全ての必修科目を含む 36 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 指導教員は、所属コースの教授または准教授の中から決められる。

心理学専攻 博士後期課程 履修方法

- (1) 心理学研究科心理学専攻博士後期課程にあつては、3年以上在学し、論文指導教授の「特別演習」6科目（12単位）、論文指導教授以外の教員が担当する「特別講義」2科目（4単位）、合わせて16単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。

履修上の注意

- (1) 博士後期課程にあつては、3年以上在学し、所属専攻の授業科目の中から、指導教授の指導の下に所定の単位ないし科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士後期課程在学者の再履修については、成績評価のみとし、単位認定はしない。
- (3) 演習は、講義の単位修得後でなければ履修できない。ただし、経済学研究科および心理学研究科についてはこの限りではない。
- (4) 博士後期課程在学者の前期課程の科目履修は、開講科目についてのみ聴講を認める。この場合、成績評価および単位認定はしない。
- (5) 博士後期課程の在学者は、毎学年度末に年次研究報告書を指導教授を経て、研究科委員長に提出するか、研究報告会で報告しなければならない。

授業科目・担当指導教員

(※ 印は今年度休講)

心理学専攻（博士後期課程）

(※²印は今年度研究サバティカルにより休講)

授 業 科 目	単位数	担 当 者	身につく能力*			
			科目に最も関連する能力=◎ 科目に関連する能力=○			
			①	②	③	④
1. 特別演習						
特別演習Ⅰ	2	教授 渋谷 恵	○	◎	○	○
	2	教授 金沢 吉展				
	2	教授 金城 光				
	2	教授 伊藤 拓				
	2	教授 水戸 博道				
	2	教授 宮本 聡介				
	2	※ 教授 杉山 恵理子				
	2	教授 田中 知恵				
	2	教授 小野 昌彦				
	2	教授 西園マールハ 文				
	2	教授 中村 敦雄				
	2	教授 海津 亜希子				
	2	教授 松崎 洋子				
	2	教授 小林 由利子				
	2	※ ² 教授 野村 信威				
	2	教授 川端 一光				
	2	※ ² 教授 森本 浩志				
特別演習Ⅱ	2	教授 渋谷 恵	○	◎	○	○
	2	教授 金沢 吉展				
	2	教授 金城 光				
	2	教授 伊藤 拓				
	2	教授 水戸 博道				
	2	教授 宮本 聡介				
	2	※ 教授 杉山 恵理子				
	2	教授 田中 知恵				
	2	教授 小野 昌彦				
	2	教授 西園マールハ 文				
	2	教授 中村 敦雄				
	2	教授 海津 亜希子				
	2	教授 松崎 洋子				
	2	教授 小林 由利子				

教育発達学専攻 修士課程 履修方法

修了要件ならびに履修方法は、以下の通りである。

- (1) 2年以上在学すること。
- (2) 授業科目の中から 36 単位以上を修得すること。そのうち「研究基礎科目」の7科目、研究指導1および研究指導2の2科目、計9科目 18 単位を必修とする。また、各領域から1科目、計4科目 8 単位を選択必修とする。
- (3) 修士論文の審査に合格すること。

授業科目・担当指導教員

(※ 印は今年度休講)

教育発達学専攻

(※¹印は今年度研究サバティカルにより休講)

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力＊			
				科目に最も関連する能力＝◎			
				科目に関連する能力＝○			
①	②	③	④				
〔研究基礎科目〕							
教育発達学総論	2		准教授 根本 淳子	◎		○	
教育発達学特論Ⅰ A（発達心理）	2	※		◎		○	○
教育発達学特論Ⅰ B（教育心理）	2		准教授 垣花 真一郎	◎		○	
教育発達学特論Ⅱ A（教育環境）	2		教授 渋谷 恵	◎			○
			准教授 佐藤 公				
教育発達学特論Ⅱ B（学習過程）	2		教授 辻 宏子	◎		○	○
教育発達学特論Ⅲ A（障害児・者心理）	2		教授 海津 亜希子	◎	○	○	○
教育発達学特論Ⅲ B（特別支援）	2		専任講師 杉岡 千宏	◎		○	○
〔課題探究科目〕							
A 発達の理解領域							
臨床発達心理学総論	2		教授 松寄 洋子	○	○	◎	○
保育発達心理学総論	2	※		○	◎	○	
情動発達心理学特論	2		講師 遠藤 利彦	○	◎	○	
言語コミュニケーション特論	2	※		○	◎	○	
言語発達心理学特論	2		講師 村田 美和		◎	○	○
認知心理学特論	2		教授 金城 光	○	◎	○	
障害児心理学総論	2		講師 小林 玄	○	◎	○	
心理統計法特論	2		講師 堀 一輝	○	◎		
教育発達学研究法特論	2		准教授 垣花 真一郎		◎		○
B 行動の理解と支援領域							
保育臨床心理学特論	2	※		○		◎	○
生徒指導特論	2		教授 小野 昌彦	○		◎	○
知的障害児病理特論	2		教授 小林 潤一郎	○		◎	
発達障害児病理特論	2	※	教授 小林 潤一郎	○		◎	
肢体不自由児病理特論	2		教授 小林 潤一郎	○		◎	
病弱児病理特論	2	※	教授 小林 潤一郎	○		◎	
臨床アセスメント特論	2		教授 小野 昌彦	○	○	◎	○
発達検査法特論	2		講師 岡崎 慎治	○		◎	
障害児キャリア支援特論	2		講師 梅永 雄二	○		◎	
学級集団アセスメント特論	2		教授 小野 昌彦	○	○	◎	
C 学習の理解と支援領域							
学習心理学特論	2		准教授 垣花 真一郎	◎		○	
幼児教育特論	2		教授 小林 由利子	○		◎	○
造形表現特論	2		准教授 手塚 千尋	○		◎	○
子ども言語特論	2		教授 中村 敦雄	◎		○	
			准教授 垣花 真一郎				
音楽表現特論	2		教授 水戸 博道	○		◎	○
初等科教育研究特論（国語）	2		教授 中村 敦雄	○	○	◎	
初等科教育研究特論（社会）	2		准教授 佐藤 公		○	◎	○

法と経営学専攻 修士課程 履修方法

修了要件ならびに履修方法は以下の通りである。

- (1) 法と経営学研究科法と経営学専攻修士課程においては、2年以上在学し、30単位以上を修得し、修士論文または特定課題研究成果報告書の審査に合格しなければならない。
- (2) 在籍2年目の履修登録時に、修士論文または特定課題研究成果報告書のいずれかを選択しなければならない。
- (3) 経営学と法学の融合的学習を目的とする「共通基礎科目」のうち8単位（うち4単位はビジネス総論1・2）と合同演習2単位、および研究指導4単位または特定課題研究2単位を必修単位とする。さらに、講義科目の中から経営学関連科目2科目（4単位）、法学関連科目2科目（4単位）を修得しなければならない。

履修上の注意

- (1) 修士課程では、単位修得科目の再履修はできない。

（※は今年度休講）

授業科目・担当指導教員

（※¹は隔年開講で今年度開講科目）

法と経営学専攻（修士課程）

（※²は隔年開講で今年度休講科目）

授 業 科 目	単位数		担 当 者	身につく能力*			
				科目に最も関連する能力=◎	科目に関連する能力=○		
				①	②	③	④
【共通基礎科目】							
ビジネス総論1	2		教授 福田 清明、山田 純平	○	◎	○	
ビジネス総論2	2		教授 来住野 究、北浦 貴士	○	◎	○	
中小企業研究総論（事業承継の法と経営）	2		西山 由美、福田 清明 来住野 究	◎	○	○	
企業と社会（CSR）	2		講師 神田 良	◎		○	○
			講師 前田 絵理				
法と経済学	2		講師 村松 幹二	◎	○	○	
法学研究論	2		講師 高田 寛		◎		○
経営学研究論	2		准教授 大竹 光寿		◎		○
社会起業論	2		教授 菅 正広		◎	○	○
起業論	2		講師 小滝 秀明	○	◎	○	
統計学総論	2		教授 生方 雅人	○	◎	○	
法と経営学特論	2	※			○	◎	○
【講義科目】							
<コーポレート・ガバナンス>							
経営学関連科目							
企業経営研究（アジア進出日系企業の経営戦略）	2		教授 北浦 貴士	◎		○	
会計研究1（企業会計）	2		教授 藤田 晶子	◎		○	
会計研究2（内部統制・監査）	2	※		◎		○	
中小企業研究各論1（事業承継と税）	2	※		◎		○	
法学関連科目							
企業法研究1（企業組織の法と実務）	2		教授 来住野 究	◎		○	
企業法研究3（企業再編の法と実務）	2		教授 来住野 究	◎		○	
民事再生法研究（企業再生の法と実務）	2	※ ²	教授 近藤 隆司	◎		○	
<ファイナンス>							
経営学関連科目							
ファイナンス研究1（コーポレートファイナンス）	2	※ ²	教授 大野 弘明	◎		○	
ファイナンス研究2（インベストメント）	2	※ ¹	教授 大野 弘明	◎		○	
会計研究3（会計情報と企業評価）	2		講師 小林 正和	◎		○	
法学関連科目							
企業金融研究（資金調達法の法と実務）	2	※		◎		○	
担保法研究（担保・保証の法と実務）	2	※ ²	客員教授 松本 恒雄	◎		○	